

OpA!
EI



第150期 中間期
株主レポート

平成20年4月1日～平成20年9月30日

経営の基本方針

当社グループは、「食と健康」に関わる事業領域を基盤とし、長年培ってきた技術や **M i i**

CONTENTS

株主の皆様へ	1
事業の概況（連結）	
業績の推移 / 連結子会社	1
中間連結貸借対照表	
中間連結損益計算書 / 中間連結キャッシュ・フロー計算書	
中間貸借対照表（単独）	
中間損益計算書（単独）	
新製品紹介	10
Meiji News	1
トピックス	1
役員 / 従業員 / 主要な事業所	1
株式の状況	0
株主メモ	1

事業の概況（連結）

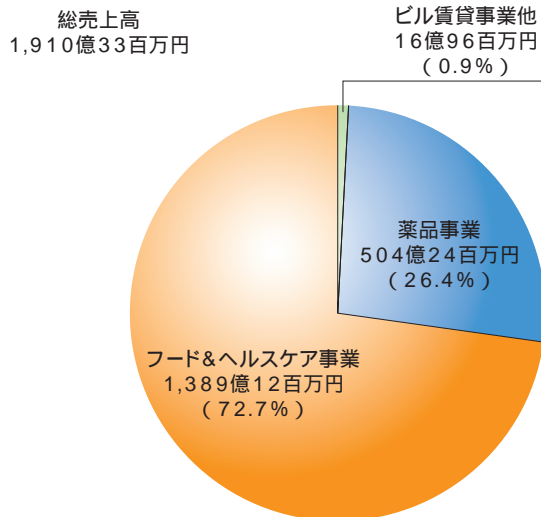
（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

当中間期における当社グループの連結売上高は1,910億33百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益につきましては、原材料高騰、薬価改定等の厳しい影響を受け、経常利益は20億26百万円（同45.0%減）、中間期の純利益は2億97百万円の損失（前年同期純利益24億円）となりました。

当社グループの事業別売上高の状況は下のグラフのとおりであります。

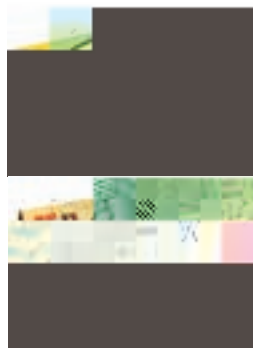
なお、当中間期の連結子会社は、5ページに記載しております。

売上高構成比（当中間期）



フード＆ヘルスケア事業の連結売上高は1,389億12百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

菓子事業につきましては、主力カテゴリーでは、効果的な販促活動により全体として前年同期並みに推移しました。チョコレートは、全体として堅調な動きとなりました。主力商品では、価格改定・内容量変更を実施した「ミルクチョコレート」、「きのこの山」、「たけのこの里」が好調に推移しました。「ガルボ」は「ガルボチップス」など新商品が寄与し大幅な増売となりました。ガムは、主力の「キシリッシュ」がボトルタイプは好調でしたが、全体では前年同期を下回りました。キャンデーは、発売20周年の「果汁グミ」が引き続き増売となるなど、好調に推移しました。



健康事業につきましては、宣伝普及活動の推進と店頭露出の強化により、全体として前年同期を上回りました。健康・美容分野では、「アミノコラーゲン」



が新CMの販促効果や高付加価値商品「プレミアム」の新発売により、競争激化のなか好調に推移しました。「ザバス」は減売となりましたが、「パーフェクトプラス」は、ラインアップ強化と露出拡大により大きく伸長しております。食品分野では、

新製法の「コクがおいしいミルクココア」を新発売しました。粉末タイプに加え、ドリンクタイプ(株式会社ポッカコーポレーションとの共同開発商品第一弾)をライン



中間連結損益計算書

(単位：百万円)

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,038	6,120
投資活動による キャッシュ・フロー	8,974	10,059
財務活動による キャッシュ・フロー	772	3,071
現金および 現金同等物に係る換算差額	53	14
現金および 現金同等物の増減額(減少：)	216	7,024
現金および 現金同等物の期首残高	11,792	14,513
新規連結による現金 および現金同等物増加額	918	443
現金および 現金同等物の中間期末残高	12,493	7,932

(注) 1株当たりの中間純利益

1株当たりの中間純損失 78銭

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

6円33銭

中間貸借対照表(単独)

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前 期 (平成20年3月31日現在)
資産の部	314,001	203,158	負債の部	175,031	175,820
			流動負債	99,329	77,659
			買掛金	24,123	24,438
			短期借入金	16,263	10,263
			社債(1年以内償還)	20,000	
			コマーシャルペーパー	5,000	6,000
			リース債務(1年以内)	46	
			未払金	8,152	7,505
			未払費用	9,942	10,360
			未払法人税等	472	2,208
			賞与引当金	3,434	3,411
			返品調整引当金	250	270
			売上割戻引当金	4,821	5,213
			その他の流動負債	6,822	7,988
			固定負債	75,702	98,160
			社債	35,000	55,000
			長期借入金	18,349	18,663
			リース債務(長期)	182	
			長期繰延税金負債	10,109	10,752
			退職給付引当金	9,417	10,307
			役員退職慰労引当金	186	206
			債務保証損失引当金	271	271
			その他の固定負債	2,186	2,959
			純資産の部	138,969	139,959
			株主資本	133,156	133,433
			資本金	28,363	28,363
			資本剰余金	34,945	34,947
			資本準備金	34,935	34,935
			その他資本剰余金	10	12
			利益剰余金	73,402	73,651
			利益準備金	7,090	7,090
			その他利益剰余金	66,311	66,561
			固定資産圧縮積立金	20,521	20,521
			別途積立金	42,000	39,000
			繰越利益剰余金	3,790	7,039
			自己株式	3,555	3,530
			評価・換算差額等	5,813	6,526
			その他有価証券評価差額金	7,680	8,411
			繰延ヘッジ損益	1,866	1,885
			負債および純資産合計	314,001	315,779

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 207,267百万円 203,158百万円
 2. 受取手形割引高 95百万円 99百万円
 (備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

アミノコラーゲンプレミアム

アミコラの基本配合に「ヒアルロン酸60mg」、「COQ10 10mg」を求められる美容のための成分としてさらにプラス配合した、商品です。

ザバス アミノ2000

「大豆ペプチド」をベースとしたタブレットで、運動後のスムーズなりカバリーに必要なアミノ酸を凝縮したタブレットです。

コクがおいしいミルクココア

イソジンうがい薬P

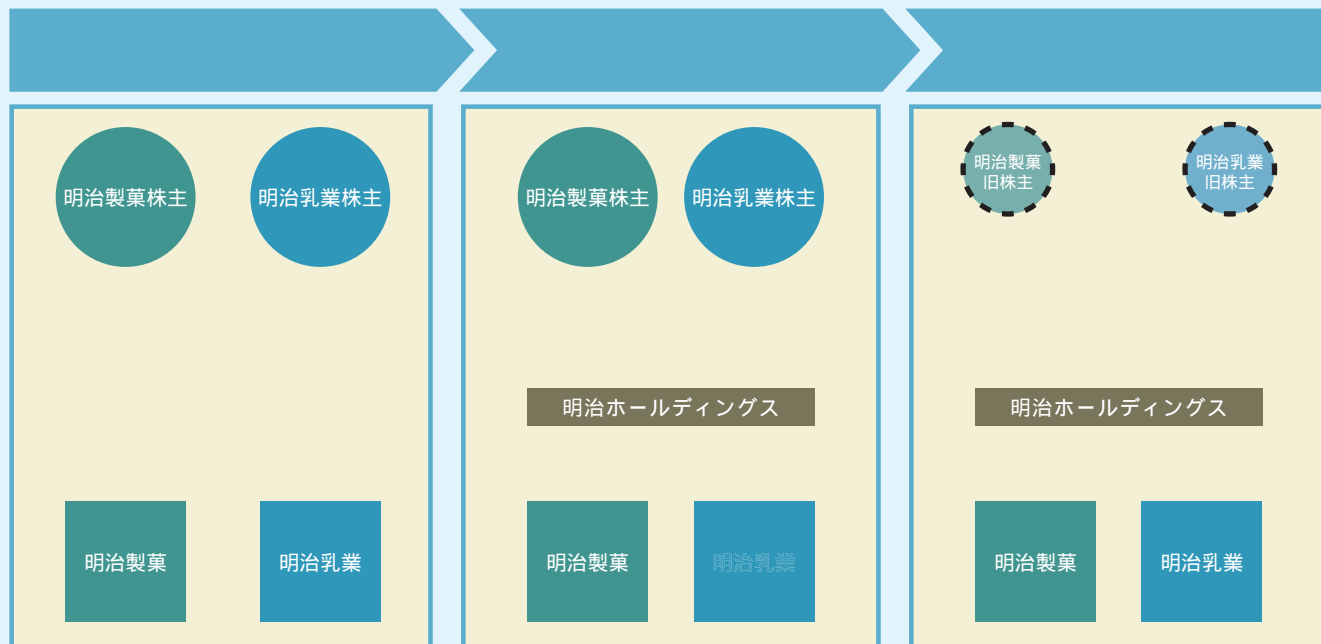
今年で発売25周年を迎えたトップブランドの「イソジン」に、女性や子供でも使いやすい新フレーバーを発売。後味さわやか「ほんのりフルーティー」。

明治乳業との経営統合について

当社と明治乳業株式会社は、共同株式移転の方法により両社の完全親会社「明治ホールディングス株式会社」（以下「明治ホールディングス」）を設立することについて合意に達し、平成20年9月11日付けで、本株式移転に関する「株式移転計画書」を作成し、両社の経営統合に関する「統合契約書」を締結いたしました。

以下にその概要についてお知らせいたします。

経営統合の概要



新会社の概要

明治ホールディングスのポジショニング

統合によるシナジー効果

シナジー 1 新生「明治」ブランドの価値向上および既存事業の強化

シナジー 2 新たな需要の創造による事業成長機会の拡大

幅広い分野にわたって両社が蓄積してきた基盤技術、商品開発、生産技術、品質分析、知的財産や医薬研究の成果・知見を融合することによる事業成長機会の拡大

→ リーディングカンパニー同士の「強み」の融合

新生「明治」ブランドとして、中国を始めとするアジア市場等、海外成長市場での積極的な事業展開





プロジェクト報告 (コクがおいしいミルクココア&カール)

当社では、本年1月に株式会社ポッカコーポレーション(以下「ポッカ」)と包括的な資本・業務提携契約を締結し、両社の強みを活かした様々な取組みを進めております。両社で設置したプロジェクトチームでは、開発、営業、調達、生産、物流など幅広い分野で検討を進めておりますが、その中からいくつかの取組みをご紹介します。



新生明治ミルクココアの発売に併せ、自動販売機を始めとして飲料事業に強みを持つポッカの販売ルートを活用し、「コクがおいしいミルクココア 280g缶 / 195gカートカン」を発売いたしました。

ココア飲料は平成16年から売上が拡大傾向にあり、今後も伸長が期待される市場です。従来からの粉末タイプと缶などの飲料タイプの組み合わせで、ココア市場における大幅なシェアアップを狙ってまいります。



2 「カール」と「じっくりコトコト煮込んだスープ」の とびきりおいしいコラボレーション！

ふっくらサクサク軽い食感が人気の「カール」とポッカの主カブランド「じっくりコトコト煮込んだスープ」のコラボレーション商品「カール(ポッカスープ)コーンポタージュ味/カール(ポッカスープ)クラムチャウダー味」を発売しました。

カール発売40周年とスープ需要期という絶好のタイミングでのコラボレーションで、両ブランドの売上拡大とイメージ向上を図ります。



かけがえのない未来に向けて

「CSR報告書2008」発行

本年9月に明治製菓グループのCSR活動を記載した「CSR報告書2008」を発行いたしました。明治製菓グループのCSR推進テーマは、6つの分野（品質・コンプライアンス・リスクマネジメント・環境・社会貢献・情報）を重点としており、この6分野を中心に取組み内容を報告しています。

なお、この「CSR報告書2008」は当社ホームページでご覧いただくことができます。

<http://www.meiji.co.jp/csr/index.html>

報告書のポイント

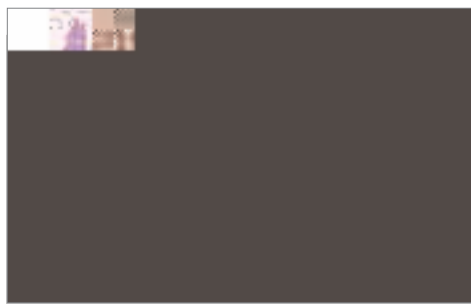
重点6分野のほかにも、「事業概要」、「コーポレートガバナンス」、「ワーク・ライフ・バランス」、「安全衛生」、「カカオ原産国とのパートナーシップ」等を紹介しています。

また、特集として見開き6ページを設け、幅広い年代の方にご覧いただけるよう、漫画を使い、菓子・薬品それぞれの工場見学の中で、品質管理や環境への配慮、リスクマネジメントの工夫について触れています。



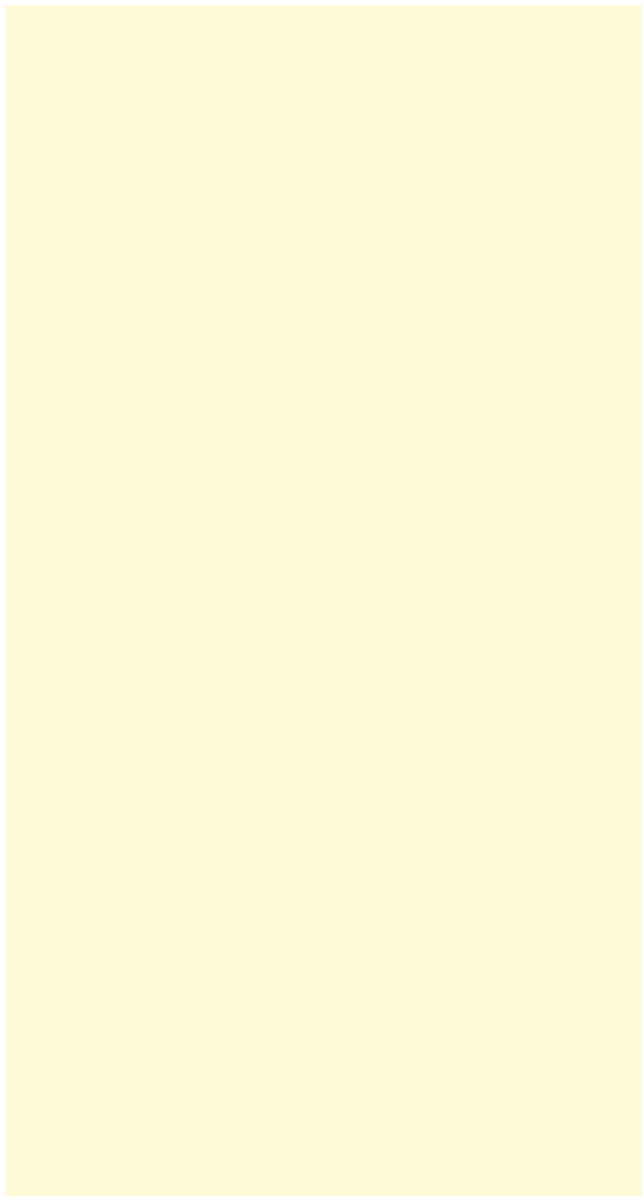
2007年度の環境負荷

報告書にも掲載しておりますが、当社の2007年度の二酸化炭素排出量は、1990年度に比較して32%削減しており、京都議定書での日本の義務である6%削減を大きく上回っております。また、フード&ヘルスケア事業傘下の3工場（関東・東海・大阪）におきましては、ゼロエミッションを継続しています。



役員

(平成20年9月30日現在)



従業員

(平成20年9月30日現在)

従業員数(前期比)	平均年齢	平均勤続年数
3,866名(26名増)	40.0歳	16.6年

(注) 従業員数には当社から他社への出向者が含まれており、
臨時従業員は含まれておりません。

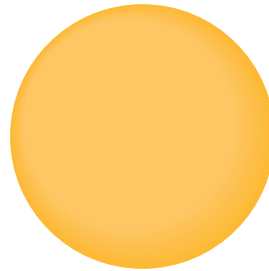
主要な事業所

(平成20年9月30日現在)

株式の状況

(平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	796,104,000株
発行済株式の総数	385,535,116株
株主数	70,374名 (前期末に比し1,819名減)
大株主 (上位10名)	



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
別途定める場合は、予め公告します。

定時株主総会 6月下旬
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.meiji.co.jp/>
ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
なお、会社法第440条第4項の規定により決算公告は行っておりません。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

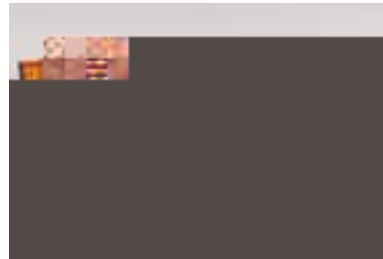
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

(電話お問い合わせ)
(郵便物送付先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120-232-**金商** ”

株主様へのご優待

3月31日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、以下の基本配当額を10月末頃に贈呈いたします。平成18年度より寄贈選択制度を設け、株主様のご意志により優待品を株主様へのご送付に代えて福祉団体へご寄贈いただくこともできることとしております。

- 1,000株以上：2,000円相当
- 3,000株以上：3,500円相当
- 5,000株以上：5,000円相当



製品は一例です(3,500円相当)。

平成21年1月5日施行の株券電子化に伴うお知らせ

お問い合わせ先

〒104 - 8002

東京都中央区京橋二丁目4番16号

電話(03)3272 - 6511(代表)

